

しろくま通信



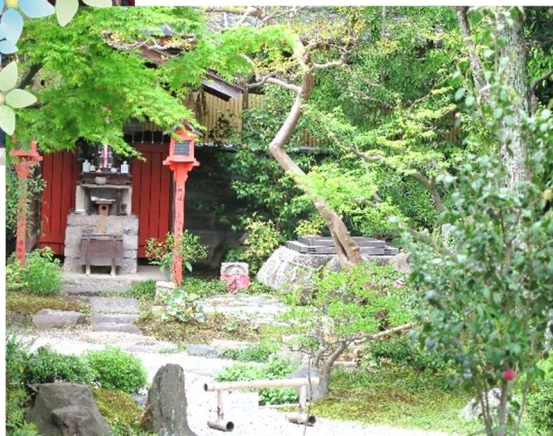
前々回より「お盆」について書いています。

京都に、この世とあの世の接点と言われるところがあります。東山の六道珍皇寺がそうで、本堂の裏庭にある井戸は「六道の辻」と呼ばれ、六道とこの世を行き来できるそうです。昼間は朝廷で官吏を、夜間は冥府において閻魔大王のもとで裁判の補佐をしていたと言われる小野篁（おののたかむら）が夜毎冥府通いのため、その井戸を入口に冥府に降り、朝になると嗟峨の福生寺の井戸を通して地上に戻ってきたそうです。

六道の辻



冥府に降りる井戸



前回のしろくま通信はホームページで観覧できます

<http://babayakkyoku.com/>

ホームページは「しろくま薬局」ですぐに検索！！